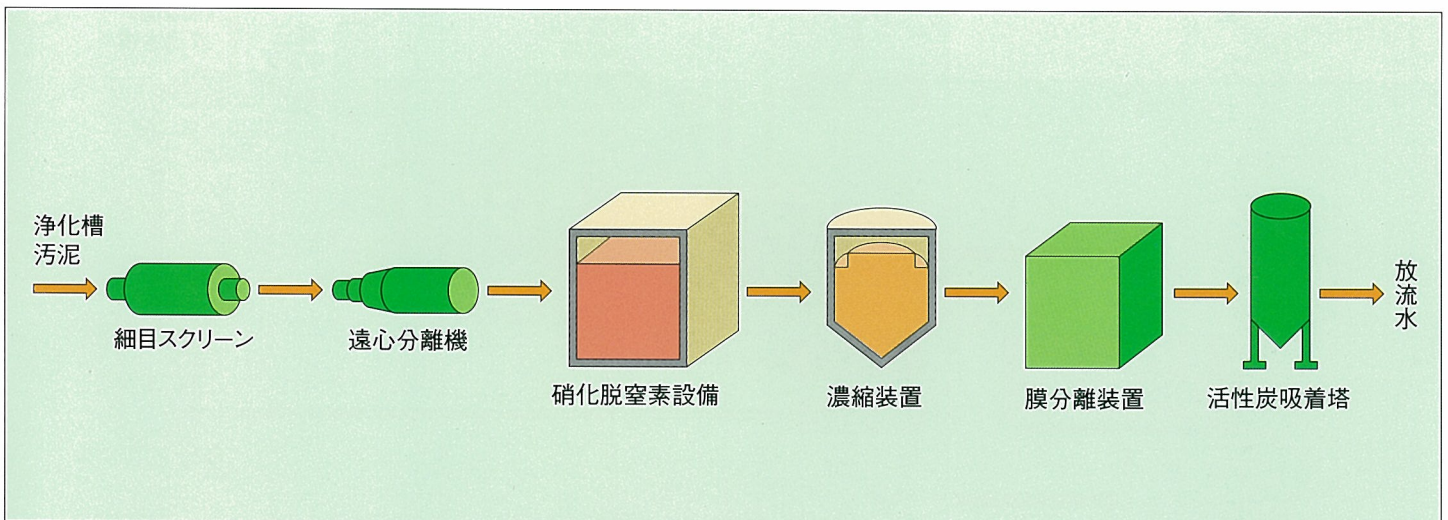


浄化槽汚泥混入比率50%以上の  
処理に応えるシステムです。

## 特長

- 膜フラックスの増大及び  
新型膜の採用が可能
- 運転が容易
- 処理水が安定
- 維持管理費が安い
- コンパクトな施設
- 部分適用が可能



## 処理プロセス

### 受入貯留設備

処理場に運ばれたし尿、浄化槽汚泥を細目スクリーンへ通しゴミを取り除きます。浄化槽汚泥について単独もしくはし尿と混合し、汚泥脱水機にて脱水（固液分離）します。

### 主処理設備

主処理設備は、硝化脱窒素槽、汚泥濃縮装置（動沈殿式、機械式）、脱分離装置等により構成されており、BOD、T-N、SSを除去します。汚泥濃縮装置の採用により、脱分離装置へ流入する有機汚泥量が低減し、膜フラックスの増大化と膜の一般化がはかれます。

### 高度処理設備

活性炭吸着により、膜分離液中に残留するCOD、色度等を除去します。